

学校完全週5日制移行に伴う地域としての取り組み

横浜コミュニティ推進協議会・青少年育成連絡部会

平成14年度から学校完全週5日制が実施されます。「ゆとり教育」の導入といった教育方針の変遷も含めて、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わりつつあります。

このたび、学校完全週5日制に伴い地域としての取り組みを模索・検討のために、地域内の児童・生徒および保護者へのアンケートを実施しました。また、地域内の諸団体・機関からの意見・要望もお聞きしました。

アンケートの結果 配布605枚 回収513枚 回収率 84.8%

※ 枠内は考察

1. 毎週休みになる土曜日をどのようにすごしていきたいか

(1) 家にいる

ア. 一人でテレビを見たり、ゲームをして遊びたい 50.3%
・学年での大差はないが、全体的に男子が女子の3倍強ある

イ. 宿題や予習・復習の勉強をしたい。 36.6%
・小学生は学年が上がると低下している。
・中学生は勉強への意欲が感じられる。

ウ. 何もしないでゴロゴロしたい 23.4%
・低・中学年は15%前後と低いものの、高学年・中学生は約30%と高い。
・低・中学年は男子が高く、高学年・中学生は女子が高い。

エ. 家の手伝いをしたい 31.8%
・学年上がる毎に半減している
何を〜全般的に食事・洗濯・掃除・弟妹の面倒が上位。
低学年の簡単なものから高学年になると、体力・能力に応じてやっている。

オ. その他 23.8%
・読書・友達と遊ぶ・ゲーム等が上位を占める。
・ただ低・中学年には見られない傾向が趣味・部活が高学年・中学生に現れる。

(2) 外に出る

ア. 友達と遊びたい 84.6%

どこで〜公園・広場がダントツで多いが、中学生女子は低い。
何をして〜低学年はおにごっこやかくれんぼ・遊具が多いが中・高学年はボールを使ったものやゲームが加わる。
中学生になると単純な遊びからゲームやスポーツ全般になり、特に買物やアプリクラ等が見られる。

イ. 塾や習い事をしたい 47.8%

・中学生は塾の割合が高い。
何を〜なにをしたいというより、今習っていることに答えが集中



第240号
横浜地区コミュニティ推進協議会 広報部
横浜公民館
☆記事と情報は下記まで
TEL 25-2002

数字で見る横浜
人口 6,225 人
(男性 2,999 人)
(女性 3,226 人)
世帯 2,454 世帯
2月末現在

学校週5日制に伴う地区内各団体・機関からの意見・要望

地域の子どもは地域が守り、育てるという基本的発想にもとづき、学校教育・家庭教育、地域教育の3本柱の一環として地域として取り組みを模索、検討のために、地区内15団体、5機関(教育関係)にお願いしました。

設問

1. 貴団体(機関)としての考え方・取り組み
2. 学校に対する意見・要望
3. 家庭に対する意見・要望

(順不同・回答要旨)

<p>☆ 太華中PTA (副会長 磯崎一喜)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PTA活動の活性化 ～資源回収、清掃など 2. 自ら学び、自ら考える教育 ・一人一人の個性を生かす教育 3. 家族が一緒に過ごす ・親子の共同体験
<p>☆ 榎浜小PTA (会長 石丸篤志)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 動向を見守りながら、タイムリーな施策を考えていきたい。 2. どの程度、学校開放(教職員の協力も含めて)ができるか 3. 平成大不況の中、生きるという事の現実の厳しさを踏まえて、子ども週休2日制に合わせて、親がどこまで仕事を犠牲にしなければならないか、実行されてみないと分からない。
<p>☆ 子供会育成連絡協議会 (会長 青木義雄)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. もっと親が参画し、子どもと共に共有できる内容の行事を考えていきたい ・親への啓蒙活動が必要 ・地域行事の企画段階からの関与も必要 2. 週5日制の意味がよく伝えられていない現状なので、学校がリーダーシップをとって地域・家庭との連絡の場を作って欲しい。 3. 子どもと向きあう時間を大切にしたい。 ・子どもだけを行事に参加させるのではなくて、親も共に参加して欲しい。 ・家庭で家族で共有できるあそびや体験を考えて欲しい。
<p>☆ 体育振興会 (会長 西田隆二)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども会育成連絡協議会が主体となり、具体的な方法を検討すべき。 協力はある。 ・スポーツ少年団は現状通り指導する。 2. 子どもたちは学校のグラウンドで遊ぶことが多いと思うので、屋外トイレの解放を望む。 3. 週休2日制であっても、子どもたちへの責任は家庭にあると認識して欲しい
<p>☆ 民生・児童委員協議会 (会長 浅田和彦)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 担当地区の児童・生徒世帯を確認し、休日は何をしているか、把握しておく ・主任児童委員を中心に、青少年育成連絡部会の推進・強化を図る。 2. 情報交換の場をもつ。 ・休日増によるグラウンド使用が増え、他校(中、高校生)からの流入をどうするか、対策要 ・休日は親子で過ごす。 ・スポーツ少年団に入団させて、面倒を見てもらう。 ・携帯電話・ゲーム機等を与えない、買わせない。 ・しつけは親の責任で。

〇〇〇〇保護者に対するアンケートの結果と考察〇〇〇〇

配布 605枚・回収 505枚・回収率 83.5%
 小学校 91.3%、中学校 74.7%

1. 土曜日・日曜日の過ごし方について、お答え下さい

(1) せっかくの休みなので、自由に遊ばせたい 53.1%

小学校63.4%/中学校39.0%

この差は、中学校では遊びより勉強の方?

(2) 家の手伝いをさせたい 48.5%

小学校57.9%/中学校35.7%

(3) 学校の部活動にしっかり参加させたい 39.4%

小学校28.8%/中学校54.0%

(4) 趣味の活動をさせたい 36.4%

小学校は43.8%・中学校で13.1%

(5) 公民館や地域での行事に参加させたい 33.1%

小学校は46.9%・中学校で14.1%

(6) ボランティア活動に参加させたい 24.6%

小学校は28.1%・中学校で19.7%

(7) 塾で勉強させたい 11.7%

小学校は7.2%・中学校で17.8%

(8) その他

- ・親子で過ごす時間を多く取りたい
- ・勉強の子習、復習をさせたい
- ・今まで通りの生活習慣でよい
- ・好きなことをすればよい
- ・自分のことは自分で、自主性を養わせる
- ・友達と遊ぶ



2. 週休2日制になることで、保護者として不安や心配事がありますか

- ・仕事の関係で土・日曜日に子どもだけになる。
- ・学力の低下、つめこみ授業、塾への過熱。
- ・時間が余り非行に走ったり、不規則な生活の不安。
- ・行動範囲が広がるのが不安。
- ・学校行事が土曜日でなくなるので、親の参加がむづかしく学校との接点が少なくなる。

☆ 消防分団 (分団長 吉本政介)

1. 分団としては特に考えていない。
ゆとり教育だから、子どもたちで自由に遊び、スポーツ等楽しんで、友達を大切にしてほしい。
2. むつかしい宿題を出さないようにしてほしい。
3. 交通安全を守り、火遊びをしないように、家庭で注意を。

☆ 太華中学校 (校長 武居孝雄)

1. 学校としての考え方・取り組み
自ら課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる
学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること
中学校時代は、心身の成長が著しい時期なので〈心身を鍛える〉〈目標を掲げ、やり遂げる〉〈協力する態度を育てる〉ためにも、積極的に部活動に参加して欲しいものです
2. 地域に対する意見・要望
多感な世代の子どもたちですので、地域の皆様の〈どのような形でも結構です〉で暖かいご指導・ご支援をお願いします
3. 家庭に対する意見・要望
休日の過ごし方は、学校でも十分注意しますが、最終的には家庭でのあり方だと存じます

☆ 榎浜小学校 (校長 玉谷清)

1. 学校としての考え方・取り組み
基礎・基本の定着を図る。
体験活動等を取り入れ、楽しい授業を創造する
関係団体の活動・行事等を子どもたちに知らせる
2. 地域に対する意見・要望
地域の前向きな対応に感謝します
子どもたちから、突然の声かけや要望があるかも知れませんがよろしくお願ひします
3. 家庭に対する意見・要望
可能な限り「親子のふれあい」ができるようお願いしたい
基本的なしつけをお願いしたい (もちろん学校でもおこないますが)
時にはゆっくり休養することも子どもたちには必要かも知れませんが (心身共に)

☆ コミュニティ推進協議会 (会長 小林義彦)

1. 青少年育成部会の活動を拡大する。
～児童・生徒の今までの長期休業中(夏・冬・春)だけでなく日曜日・祝祭日土曜日を含めて地域住民が見守る。
児童・生徒にスポーツや文化的活動に主体的出席
～現在体育振興会が担当している4年生以上のスポーツ少年団の幅を広げて指導してもらう。
～体育振興会で生徒のスポーツ活動を担当してもらう。
～子ども会育成連絡協議会で3年生以下の子どもにスポーツ的遊びの指導してもらう。
～スポーツの苦手な児童・生徒には、公民館、コミュニティセンターの各種講座の中から選択して受講する。
2. 学校の施設をできるだけ解放。また、用具等を使用させて欲しい。
3. PTAと子ども会の親が同じになると思うので、児童・生徒の活動には積極的に出席して世話をしたい。

☆ 交通安全協会榎浜支部 (支部長 山本文治)

1. 全く新しい制度で、過去に経験したことがないので、どのような問題がでてくるか全く予想がつかない。
2. 「ゆとり」の中で「生きる力」をつけるのが狙いだが「学力低下」を不安視する声も強まっている。
3. 良く学び、良く遊ぶ、現代っ子は自ら遊ぶことを知らな過ぎる。
遊びの中から、いろいろ体験し身につける必要があるのでは？
学校で躰を要望する親が多いと聞くが、学校では教育が主体であり、躰は家庭でやるべき。

☆ 老人クラブ (会長 小山一男)

1. 要望があれば、いつでも協力します。

☆ 自治会連合会 (会長 河野紘治)

1. 家庭・学校でできないことを地域社会でどのようなことができるか模索中
地域行事・ボランティア活動に積極的に参加できるように行事のあり方を考慮する。(例 一斉清掃を土曜日にして日曜日は家庭の日にするなど)
悪いことをしてる子どもにも注意をしたり、声をかけたりして、子どもたちに暖かく接するように心掛ける。
2. 今まで十分にできなかった部活動・校外活動を積極的にしてほしい。
広々とした遊び場としての校庭の解放。
本に親しめるよう図書室の解放。
3. 親子の時間を持って家庭の絆、コミュニケーションを深める。
(家庭での教育、躰をこの機会に考え直す。)
家庭の中での役割をもたせて、責任感を培う。
(部屋や庭、家の外廻りの掃除、家事の手伝い等)

☆ 榎浜地区社会福祉協議会 (会長 西村孝)

1. 団体としての方針は未定だが関係する事業は今まで通り連携して進めたい
「ゆとり教育」の方向が本当に生きてくれば良いが一方で学力低下が心配
地域をあげての子どもへの声掛けを展開したい。
2. 経過を見守りたい。
学校から地域への要望等を待ちたい。
3. 子ども主体より母親主体の教育(躰)になっているように思える。
子どもの世話をやり過ぎる割りに、子どもの人権が、守られないように思われる。

☆ 公民館 (館長 梅田洋治)

1. 地域が保護者や子ども達とどう関わって行こうとしているのか、その趣旨・目的をしっかりとっておくこと。
小学生と中学生とでは、また、男子・女子とでは余暇の利用方法がちがってくるが、地域として今の小学生と中学生の生活行動をどの範囲までサポートしようとしているのか？
地域として、子どもたちの余暇を健全育成活動の一環として、どのように推進して行こうと考えているのか意思統一しておく必要がある。
2. 子どもたちの学校外活動が積極的に行なわれるよう努める。
学校施設を積極的に開放すること。
家庭向けパンフレットを作成し、配布するなどによる家庭や地域への働き掛けを行なうこと。
3. 保護者が、自分の子どもをどのようにしようとしているのか子どもと話し合うこと。
子どもが考えている自主活動を把握して、その仲間、グループが地域のふれあい活動・行事などに積極的に参画すること。
子どもたちに、地域の特色のある各種の体験活動・体験学習をさす。

3/17 スポ少入退団式



退団者

野球	13名
サッカー	8名
ミニバス	8名
バレー	7名
剣道	3名

入団者

野球	32名
サッカー	14名
ミニバス	16名
バレー	16名
剣道	12名

おめでとうございます

県・火災予防作品

◎ポスター

入選 磯崎 望さん(中二・東本町三)

◎習字

優良 大和 菜摘さん(小五・曉町)
入選 岩本 瞳さん(小六・曉町)

すほーつ結果

スポ少サッカー

2/24徳山市B大会

榑 浜 0:1 周 陽

「試合は押しながら、1点差で負けて悔しかった」
高杉 優作(東佐倉)

3/3 エネルギア杯

榑 浜 2:1 豊 井

榑 浜 1:1 富田西

得失点差で決勝進出ならず!!
「2対1で勝ってうれしい。(おれが2点入れた!)」
玉野 芳幸(旭町2)

「得点してすごい。頑張ったと思う」高橋 侑司(久米)

2/17空手道選手権大会

型・団体線

1位 チーム・エラ

2位 チーム・アスカ

3位 チーム・ノリユキ

山田 卓弥	・ 恵良	祐也
柳井 教輔	・ 藤井美	裕
藤井 雄大	・ 青木飛	鳥
長村 篤	・ 青木亮	磨
島村 紀之	・ 村岡忠	
山田 知生	・ 末長里	佳子

3/10 6年生卒業祝いグランドゴルフ大会

主催 地区社会福祉協議会
共催 榑 浜 小学校・同PTA
長寿会・民生委員・公民館
主管 榑 浜 体育振興会

好天に恵まれ、90名の参加を得て盛大に行われました。PTAの「たきこみごはん&豚汁」もいただき、熱のこもった半日でした。お疲れさまでした。



スポ少ミニバス

2/23徳山市冬期交歓会

榑 浜 18:39 夜 市

榑 浜 34:19 桜 田

Bブロック2位

「1試合目は気をぬいていたけど2試合目はたくさんの方が得点できてよかったです」
中川 尚美(久米)

2/24下松市協会会長杯

榑 浜 26:59 中 村

榑 浜 24:54 松 崎

「今日は両方負けてしまった。6年生はあとほんの少しかないので、くいが残らないようがんばりたい」
山本 恵実(居守3)

3/3 花岡交歓会

榑 浜 47:25 久 米

榑 浜 38:65 花 岡

「がんばったけど、まけてくやしかった。こんどはがんばりたいです」
石丸 円(華西大踏)

3/9 城南お別れ交歓会

榑 浜 51:32 鳴 門

榑 浜 28:19 城 南

榑 浜 40:22 岩 田

優勝!!

「最後の試合で優勝できてよかった」西郷 輝(浴)

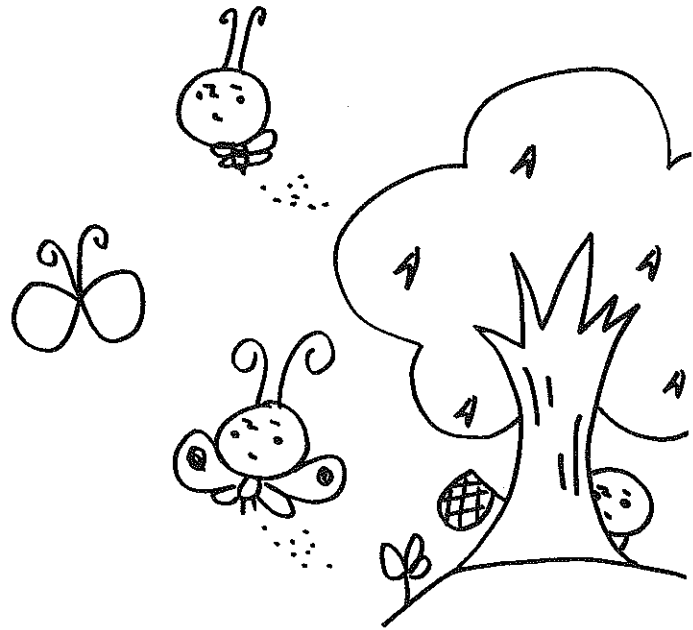
十四年度榑 浜 将棋クラブ便り

3/3 将棋同好者十名出席のもとで久し振りに頭の運動をさせながら、お酒を一杯二杯と飲み交わし勝負にいどみました。大変有意義な大会となりました。

- 一位 浅田 武夫(中磯町) 五勝一敗
- 二位 北野 俊男(下松市) 四勝二敗
- 三位 藤井 要(峠) 三勝三敗

季節のイラストコーナー

足利 絵理香さん (栗南1)



寄贈お礼
 *児童館におもちやと本を頂きました
 田村様 (東本町二)
 榊西保育園 3月9日(土)
 卒園巣立ち式とミニ発表会を行い13名の
 3才になったお友達!
 これからも、お友達をいっぱいつくって、
 いっぱいあそんでおおくおおくな〜れ!

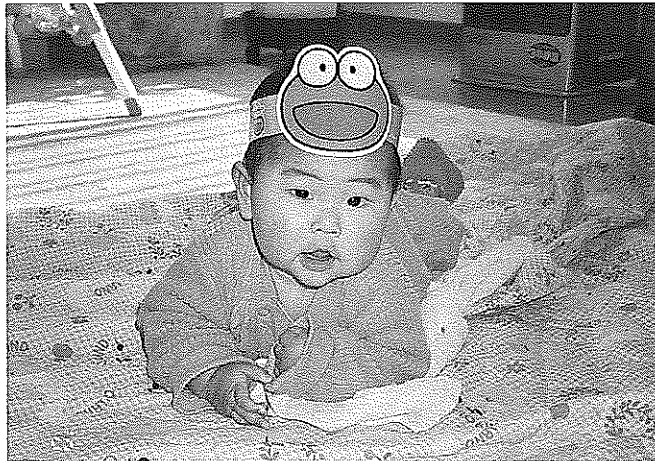


2月27日(水)
 新入学児童に
 ランドセルカバー寄贈
 徳山市交通安全協会榊西支部が、こ
 の春入学する児童のためのランドセル
 カバーを44枚寄贈しました

四月のテーマ
 ～～みどり～自然探訪～
 四月七日太華山山開き(併せて
 市民歩け歩け大会開催)を皮きり
 に『鼓海の森』など地域の自然を
 満喫して下さい。

環境創生21プラン事業

すくすく育て



ひろたに すみか
広谷 純佳ちゃん(華西小路)
 (平成13年 6月 27日)
 遊ぶのが大好きなおてんば娘です。
 パパと一緒にいるお風呂が楽しみです。
 純粋でやさしい子に育ってね。

良い子を見つけ隊
 いいことをした子や落とし物を届け
 てくれた良い子たちを紹介します

2年	磯村 勇輝(西浦町)
	青木 星羅(南浜)
3年	丁田 沙智(東本町3)
6年	浅田 真希(浴)

訂正

柳浜児童館ホームページのアドレスが間違っていました。

正しくは

<http://www.kit.hi-ho.ne.jp/cowboy/> です。

ご利用をお願いいたします。

お知らせ

◇徳山市シルバー人材センター出張刃物研ぎ◇

日時 平成14年4月18日(木)

9時~16時

場所 榑浜公民館前

料金 文化庖丁(スルス) 300円
 業切庖丁・剪定鋏 500円
 花 鋏 300円

おめでとうございます

川に自転車もろとも転落した男性を
 助けて2月21日県教育委員会から
 善行表彰をうけられました



高橋 亨君 中3(華西大踏)

行事予定

☆コミュニティ推進協議会
 4/7(日) 太華山山開き
 4/21(日) 総会

☆自治会連合会
 4/13(土) 総会

☆地区社会福祉協議会
 4/13(土) 総会
 4/20(土) 地区慰霊祭

☆婦人会
 4/13(土) 支部長会議及び総会

☆子ども会育成連絡協議会
 4/12(金) 総会

☆体育振興会
 4/7(日) 歩く会・市民歩け歩け大会
 4/13(土) 総会

(スポ少)
 4/29(月・祝) 総合結団式

☆太華中学校
 4/8(月) 始業式・入学式
 4/22(月)~26(金) 家庭訪問

☆榑浜小学校
 4/8(月) 始業式
 4/9(火) 入学式
 4/19(金) 参観日

☆徳山養護学校
 4/8(月) 始業式・入学式

☆榑浜児童館
 4/9(火) 入館式
 4/11(木) 保護者会
 4/19(金) 1年生歓迎会

☆榑浜保育園
 4/1(月) 入園式

☆蓮生・まこと幼稚園
 4/12(金) 入園式
 4/20(土) 母の会総会

